

## 第2回三光作業部会議事録

開催日時: 令和8年8月3日 10時～12時00分

開催場所: 三光コミュニティセンター 集会室

### 参加者数

|      |    |    |
|------|----|----|
| グループ | 1  | 2  |
| 人数   | 5名 | 5名 |

- あいさつ、アイスブレイク  
事務局から、参加のお礼と前回の内容について説明があった。  
その後、第1回をベースにしたグループに分かれてアイスブレイクを行った。
- グループワーク①  
第1回で出し合った「自分たちが住みたい地域」「地域に住む人にとって住みたい地域」の各アイデアを4つのテーマに分別した。
- グループワーク②  
再度グループ分けを行い、参加者を2つのグループに分け、4つのテーマの中でさらに同じような内容にまとめた。

### まとめ

- ①つながり、支え合いのあるまち:「挨拶や会話による助け合い」、「多世代交流(子育て・高齢者・外国人等)の創出」「伝統行事の継承」「交流拠点の設置」「地域のリーダー育成」「ゴミ出し等のマナー遵守」「継続的な訪問活動」に加え、「認知症への理解」や「介護負担軽減に向けた体制づくり」について意見がまとまった。
- ②安心・安全のあるまち:「日常の声かけ」や「災害時の見守り強化」が不可欠とされた。「デジタル技術を用いた監視システム」の導入検討とともに、「平時からの近隣関係の構築」、「子供の安全確保やスクールガードの継続」など、地域一丸となった防犯・防災体制の必要性が共有された。
- ③暮らしを支えるサービスが充実したまち:「交通手段の確保」や「買い物支援」、「ゴミ分別の徹底」、「就労環境の改善」、「医療・相談体制の充実」が議論された。また、「ボランティア不足や共働活動の負担軽減への対策」、「公園整備」、「既存の資源の活用」、「ITによる高齢者見守り」といった生活の質向上への提案がなされた。
- ④地域が元気になるまち:「竹林等の自然資源の活用」や、「子供が主役となる多世代行事の開催」が地域の活力に直結すると指摘された。「地域資源の魅力発信」、「移住・還流の促進」、「世代を超えた出会いの場の創出」を通じ、持続可能な人口増を目指すという意見が出た。

